

ドクモスカウト2011募集要項

- **内容**：2011年度の「つり情報」読者モデルをオーディション形式により決定し、釣りファンの拡大と女性アングラ育成のお手伝いをさせていただきます。
- **応募条件**：自薦他薦を問わず、18歳以上35歳未満の釣り好き女性に限りです。
- **選考方法**：毎月1名、書類審査通過者に取材釣行していただき、つり情報発行人、ドクモスカウト事務局、カメラマン、船長の4人により基礎点を採点。12名の女性アングラがそろったところで、最終審査として全員で仕立船釣行し、グランプリを選出します。
- **応募方法**：WEBからの応募は、つり情報 WEBサイトにある「ドクモスカウト2011」のページから。



ケータイからの応募はコチラ→

さらに詳しく…



▼タマヅメはチャンスタイム



沙也香の感想

♥ 始こんな難しい釣りだとは思いませんでした。色いろ悩みましたが、満足釣果を残せず残念です。でも乗った時の快感は言葉にならないほど感激しました。近々必ずリベンジしてみたいと思います。また夢中になりそうな釣りが増えそうです。



女性釣客も調子よく釣っていた
▼こわごわ怖下げる気持ち、よく分かります



♥ 墨を吐かせないように取り込む方法も分かっていた

ついでに、まず1杯目は左舷ミヨシの方250グラム級の小型を上げる。これはイケると思ったのもつかの間、彼女が静かにリールを巻き始めた。やや取り込み手間取りながらも(周囲は墨噴射を期待していたが)、なんなく300グラム級を取り込んだ。ツポにはまったか、調子よく

3杯を釣ったところで船中乗りが遠のく。こまめにタナを取り直したりと釣り方に関しても非の打ち所がない。3時過ぎ、船は大きく移動して横須賀沖の20メートルダチで釣り開始。ここでは400グラム前後の良型が目立つようになる。移動した時点では彼女がトツプだったが、ここから迷宮に入り込む。竿を替えたり餌木を替えたりとあえぐが、一向に乗る気配はない。結局、4時半の納竿まで乗りは訪れないまま終了。船中釣果は250〜450グラムを0〜9杯と半日釣りとしてはまずまずの釣果。先行逃げ切りを図った彼女だったが、残念な結果に終わる。「まだまだ修行が足りませぬね」と謙虚な言葉。二度目の挑戦で3杯釣れば十分だろう。研究熱心な姿勢は今後の活躍を期待できる逸材とスタッフは予想した。



♥ 船中2杯目となる300グラム級をゲット

練習の甲斐があつたかしら♥



ドクモスカウト DOKUMO 2011

女性読者モデルオーディション

参加者大募集 DokuMo Scout 2011

第1次審査 vol.4
東京湾金沢八景沖の
スミイカ
東京湾奥金沢八景
太田屋

写真◎井坂英樹 文◎本誌編集部



4thチャレンジ
♥ 樋口 沙也香さん
ひぐち さやか

- プロフィール
- 1987年生まれ 23歳
- 職業 派遣社員
- 趣味 釣り、スノーボード



♥ 釣りを始めるまでは魚を触ることもできませんでしたが、今では料理して食べることにハマっているくらいです。好きな釣りはカワハギ、マルイカ、難しい釣りほど楽しいもの。そんな釣りの魅力を知っていただきたく応募しました。



♥ 彼女の釣り方はアタリを取って合わせる釣り方。したがって釣り中は真剣モード
▼これだけ用意してくれば満点です



好調伝える東京湾のスミイカ。この釣りには餌木とテナヤ釣りの2種類があるが、比較的初心者にも入門しやすいのが前者。今回のチャレンジヤー樋口沙也香さんはスミイカ初挑戦とのこと、迷うことなく餌木スミイカを選んだ。ところが3日前に、彼女はきちんと練習釣行してきたというから頭が下がる。乗船したのは金沢八景の太田屋。午前便でタチウオ乗合を終えた船が午後便でスミイカ乗合となる。11月8日は快晴、ベタナギの釣り日和、平日とはいえ10人の乗船者を集めて12時半に出船した。航程10分ほどでもう水深15メートルほどの釣り場に到着。彼女は使い慣れたカワハギ竿、2.5号の餌木を付けてさっそく投入開始。さすが経験済み、アドバイスする余地はまったくない。彼女の釣り方は今風餌木スミイカの主流、餌木を動かさずアタリを取って合わせるデッドエギング。これもしっかり形にな

吉明丸船長の目 Captain

(テクニック中心に20点満点で採点)

佐野 和也船長
16点 ● 今日の潮具合では恵まれた席だったので、もう少し釣ってほしかった。でも2度目なら十分です。

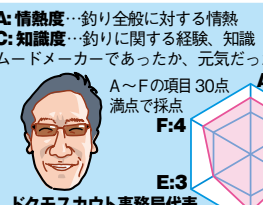


総合得点 **Score 79点**
※この点が一次審査の持ち点になります

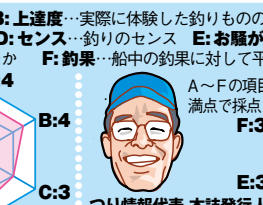
採点者の目 Marker

カメラ担当 **井坂 英樹**
18点 (ビジュアル中心に20点満点で採点)

評価 ● ファッション、雰囲気ともに今時の女の子という感じでかっこよかったです。



ドクモスカウト事務局代表 **徳永 隆也** 22点
評価 ● 2年前までは魚を触ることもできなかったという彼女、今では魚料理が得意というから釣りの持つ力はすごい。もう少し元気よく釣ってほしかったが、あの釣り方では視線が常に穂先へ集中していたのでやむを得ないか。



つり情報代表 本誌発行人 **根岸 伸之** 23点
評価 ● 彼女の釣り方は基本どおりのデッドエギング。ただ潮の動かないときは時折シャクってみるのも手。まだ2回目、これから場数を踏んでいけばもっとうまくなるはずだ。とにかく研究熱心なところは評価したい。